

五省訓

- 1. 至誠に浮るなかりしか。
- 1. 言行に恥ずるなかりしか。
- 1. 気力に欠くるなかりしか。
- 1. 努力に慥みなかりしか。
- 1. 不精に亘るなかりしか。

五省会ニュース

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

槌音高く開院二十周年



西能病院第三期増改築工事の完成予想図

全職員の一致協力

確実に“ねりん”を刻みこむ

三月二十一日に記念式

医療法人、財団五省会、西能病院は、開院二十周年記念式を、三月二十一日午前十一時半から同病院四階会議室で、理事、評議員、職員が参列して挙行政事、この席上、つぎの十四人の職員を永年勤続者として表彰（敬称略）

- ▲二十年（二人） 西能 綾子、堀井富美子
- ▲十五年（三人） 森田 由紀、荒井三津子、三原美樹雄
- ▲十年（五人） 吉本 和子、西能 誠、久世智保子、宮尾 英新、岩城真由美
- ▲五年（四人） 川西 信子、三ツ松節男、吉村 靖、吉岡 勉

西能病院は、この二十年間、一つ一つ確実に、ねりんを刻みこんできた。これは、全職員が力を合わせて地域医療奉仕に献身的な努力を重ねてきた賜物である。

昭和三十七年三月二十一日、病床十床、職員八人の小さい世帯でスタートした西能整形外科医院が、昭和五十七年三月十五日現在で、病床百十六床、職員百二十余人の大きな世帯にふくれあがった。

そして、いま、第三期増改築工事が来春の完成を目指して、槌音高く進んでいる。増改築の病床は七十一床、現在の病床をあわせると、百八十七床になる。

過ぎし日々を捧げたい

開院二十周年にあたり

西能 正一郎

昭和三十七年三月二十一日、富山市星井町 自由に医療を受けられるとは限らない状況で西能整形外科医院を開業してから二十一年の歳月が流れました。

当時の開業医の間では、開業してなんとか三年間持ちこたえられたら、後の運営には心配はない。石の上にも三年——という神話が信じられていました。

私もそれを信じてやりかけた仕事でありました。

だが、実際は、二十年経った今日まで一日として安心出来た日はなかったように思われまふ。よくぞ今日まで……という思いを、過ぎ去ったその日、その日に捧げたい気持ち一杯であります。

この間に医療の環境も大きく変わりました。当時は国民皆保険の施策がようやく軌道に乗るか乗らないかという時期でありましたし、労災保険は整備段階、まして自賠責保険や老人医療など考えることも出来ず、国民誰もが

昭和三十七年三月二十一日、富山市星井町 自由に医療を受けられるとは限らない状況で西能整形外科医院を開業してから二十一年の歳月が流れました。

これらの制度の充実により、当然のこととして、患者さんには病める者としての意識とは別に、被保険者としての権利意識が芽生え、

それが日本経済の高度成長に伴う国民の意識改革と共鳴して、日本医療の中に根付いた事も否定出来ません。同時に人の命の尊厳が問われ直され、老人医療、福祉医療、救急医療、予防医学の分野も急速に形勢がととのってましました。すばらしい進歩といわねばなりません。

また、一方われわれの側では、医療人人口の急激な増加、医療技術、医療機器の高度の発達により医療の質量共に充実したことにより、医療経済という言葉が生まれるほど、医

さらに地域医療に奉仕

めまぐるしい変化の中で

開院日ならずして、私は患者さんの利用しただけでない病院は、存在意義がないと考えました。そして病院存立の目標を、地域になくてはならない病院とすることと定めて、職員一同努力して参りましたが、道末だ遠くのご指導、ご叱正をお願いしてこいさつといたしております。

医療が経済と無関係に存在し得なくなったことも、当時では想像も出来なかつた変化であります。最近では、こうしてマンモス化した医療が再び、その本質を問われ直され、見直される傾向さえ出て参りました。

このような、めまぐるしい変化の中で、わが病院も質的に量的にも時々刻々変化して、現在の姿をとどめている必然の中に思いついてきたのであります。当院に職を奉ずる職員数も、開院時のわずか八人が、現在百二十人を数えるようになりました。また一方患者さんも、開院以来、入院、外来延べ百六十万人を突破する。ご利用をいただいていることは、神ながらぬ人の子の集団が、なさせて

あすなろ

春雷がちらつくなかで職員八人の西能医院開院披露が行われた。二十年前の三月、「大雨が降れば手術室へ水が逆流する幽霊屋敷だった」と「整形外科って何だ、ほら、顔を美しくする美容手術する外科じゃない？」交通量も事故も少なく「整形外科」の名さえ一般的でない時代だった。ウーウー……「あのサイレンは？」「西能の救急車だ」そのころから患者は増え出し、入院前には早朝から列が出来、病室はスリ詰まりになり始めた。四十三年、県下初のリハビリ部がおかれた。

新聞記者でさえ「リハビリって？」と聞いたところだ。患者自身、骨がつかれば治ったと思っていた。西能院長はそのころすでに患者をどう社会復帰させるかを最大の務めと考えていた。

こんな医者が地方に何人いただろう。開院当時を振り返り、「自分の力を試してみたかっただけ」と笑う。しかし、この院長は、医の何たるかを知っている数少ない医師の一人だったと思う。

まるで公定価格のように保険点数を決めたとき国は医療奉仕の心を否定して心を金に換えたかという怒りの言葉を何度聞かされたかわからない。今しつこいほどいわれる「患者へのサービス最優先」最新機器より大切なのは人の心の大原則「整形外科は全身を診よ」患者はまず五感で診察せよ」という西能精神は二十

西能病院 二十年の歩みへ上

- 昭和37年3月 富山市星井町40番地に西能整形外科医院を開院、診療所収容施設の使用許可（収容施設10床）
- 3月 保険医療機関の指定及び療養取扱機関の申出受理、結核予防法、生保護法の指定
- 8月 労災保険指定医療機関に追加指定
- 昭和38年9月 救急車（プリンス）購入
- 10月 富山市五福1130に本造2階建て西能整形外科病院建設に着手
- 12月 西能整形外科病院の設備及び患者収容施設の使用許可（18室47床）
- 昭和39年5月 救急病院に認定
- 7月 宇奈月町黒部猫又新黒二発電所、間組診療所開設
- 10月 病院第1期増改築工事に着手
- 昭和40年4月 第1期増改築工事が完了、鉄筋3階建て、塔屋1階（27室77床）
- 4月 富山市星井町40番地西能整形外科医院を廃止
- 8月 新黒二発電所、間組の診療所廃止
- 昭和41年12月 救急車（ジープ）を購入



昭和40年4月、第1期増改築工事が完了



昭和43年8月に第2期増改築工事が完了

西能病院開院二十周年記念特集号

- 昭和42年3月 病院開院5周年記念式を富山商工会議所で挙行政
 - 3月 富山市内運行のためマイクロバス（三菱ローザ29人乗り）を購入
 - 7月 富山県立山高地帯へ救急車（プリンス）を寄付
 - 10月 病院第2期増改築工事に着手
 - 昭和43年8月 病院第2期増改築工事が完了、鉄筋4階建て塔屋1階完成（34室116床）、リハビリテーション部完成
 - 9月 本造病棟（38年12月建築）の取り壊し処分
 - 昭和44年7月 富山大橋橋脚沈下、国道8号線不通
 - 7月 富山市桜町地鉄ビル1階に西能整形外科地鉄ビル診療所を開設
- (次号につづく)

西能病院開院二十周年

お祝の言葉

おめでとうございませす

業績に深く敬意

本多 幸男

この度、開院二十周年をお祝いになられた由、心からお祝いを申し上げます。一口に二十周年と申しても、その間には幾多の困難や、障害がありました。それを乗り越え、地域医療に輝かれています。お祝いの言葉を申し上げます。

さらに地域医療の充実を

三橋 昭男

貴病院は、昭和三十七年に開設されて以来、地域医療に絶えざる努力をこめて、地域医療の充実を期して、地域医療の発展に貢献されています。この間、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

腰痛治療の主軸として

辻 陽雄

開院二十周年を迎え、地域医療に絶えざる努力をこめて、地域医療の充実を期して、地域医療の発展に貢献されています。この間、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

整形外科の開拓者

豊田 文一

二十歳の歳月は、決して短いものではなかった。私は、豊田先生から整形外科の開拓者として、貴病院に接することになった。先生は、整形外科の開拓者として、貴病院に接することになった。先生は、整形外科の開拓者として、貴病院に接することになった。先生は、整形外科の開拓者として、貴病院に接することになった。

あすへの飛躍 ご健闘をお祈り申し上げます

お祝の言葉

二十年の堅い礎の上に立つて

矢野 三郎

開院二十周年の記念すべき日を、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

専門技術を活かして

伊藤 祐輔

開院二十周年の記念すべき日を、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。



さらに明日の夢に向って

住 栄作

開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

創造的先見に尊敬

坂本 重一

開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

人間味ある病院として

寛田 英二

開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。



開院二十周年をおめでとございます。西能九が、わずかの乗り合わせて、港海に出発された。この間、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

御厚情に感謝

故 重松 為治

病室開設二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

激しい航海に耐える西能丸

土田 亮一

開院二十周年をおめでとございます。西能丸が、わずかの乗り合わせて、港海に出発された。この間、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

男、汗と涙の記念碑

松井 元太郎

開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

減私奉公の精神で

西能 孜

開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

西能病院二十周年記念をお祝いで

諸 富 武 文

本日西能病院長はじめ、関係の皆様が誠におめでとうございます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

絵に心の純な学生時代

豊田院長の要請で滑川病院へ

最後の総括は病院から始まる。開院二十周年を迎え、心からお祝い申し上げます。この二十年という長い道のり、貴病院は、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

整形外科一本でやりなさい

評価された腰痛の研究

私は、貴病院の整形外科の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。

自信と誇りを持って

（日本医科大学付属多摩山病院院長、京都府立医科大学名誉教授）

私は私の仕事から多くの病状を治す機会がありますが、西能病院の明るい空気と、心やかな雰囲気には、いつも感動を覚えます。また手術室の様子、診療の在り方を見て、院長の牽引力の強さと、院長はじめ職員が一致団結、人の相性もよく、この間、地域医療の発展に、貴病院が果たされた役割は、誠に偉大であると存じます。これからも、地域医療の発展に、貴病院が果たされる役割を切に望みます。



障害の苦難を乗り越えて...

車椅子の会の座談会<上>



写真 座談会会場

車椅子を友に、生き抜く

車椅子のみなさんが、望んでいることや、悩まれていることを聞いたり、話を聞きながら、自分も同じように生きている。これは、一年だけのものではなく、一生にわたる生活です。...

出席者 (敬称略)
会長 志藤三郎(六五)
副会長 岡田(五八)
監事 山本(五〇)
事務局長 長川(四三)
組織部長 川原(四二)
書記 山本(三九)
司会 山本(三九)

これからは頭張る

志藤 西院長には、私生活での悩みや苦しみ、私生活での悩みや苦しみ、私生活での悩みや苦しみ... (text continues with personal reflections on disability and life)



志藤さん

おもりが肩にあたり

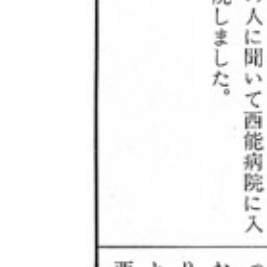
岡田 昭和三十八年七月、昭和三十八年七月... (text continues with a story about a shoulder injury and its impact on daily life)



岡田さん

電柱から落ちる

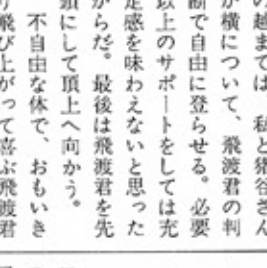
安川 電柱から落ちたのは、昭和三十九年八月... (text continues with an accident report and recovery process)



安川さん

小児麻痺から

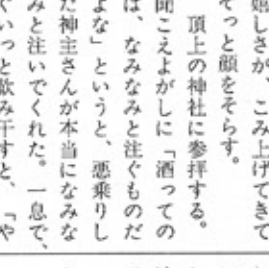
長川 生まれて半年ばかりして小児麻痺になりました... (text continues with a personal story about childhood paralysis and its long-term effects)



長川さん

死ぬ覚悟も

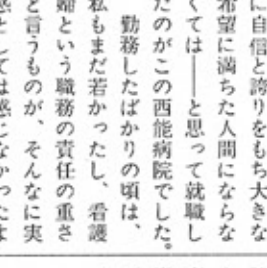
志藤 突然、歩けなくなりました。子供が四人... (text continues with a dramatic account of a health crisis and the author's resolve)



志藤さん

脊髄の神経がゆがむ

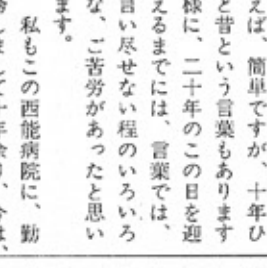
山本 昭和四十三年のことです。うつの子供を生んだ... (text continues with a story about spinal nerve issues and family challenges)



山本さん

苦しむ家庭

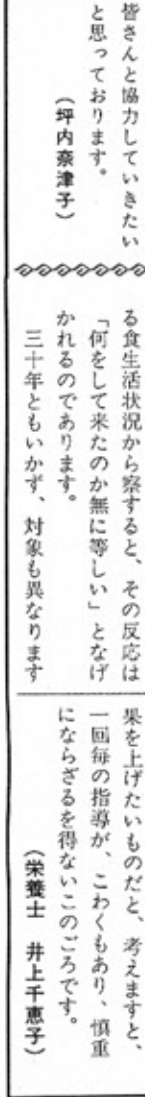
山本 私には苦しい生活があります... (text continues with a story about the struggles of a family with a disabled member)



山本さん

責任感の重さを痛感

私が西院に勤務したのは、五周年記念の時でした... (text continues with reflections on the sense of responsibility as an employee)

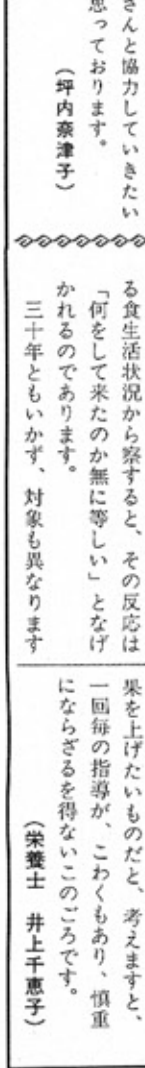


荒井 紀夫

より深い看護の知識を

ひょと、二十一年と、二十一年と... (text continues with a discussion on the importance of deep nursing knowledge)

私達は、西院の職員として、二十一年と、二十一年と... (text continues with a reflection on professional growth and responsibility)



荒井 紀夫

新人生活としての責任感をもてる看護婦に

初めは、いろいろ大変だったけど、だんだん慣れてきた。今は、まだわからないけど、先方からいろいろと教えてもらった。自分も少しずつ、責任感をもてる看護婦になりたい。...

患者さんには笑顔で

看護婦の仕事は、とても大切な仕事です。患者さんには、笑顔で接することが大切です。笑顔は、患者さんの心をとらえ、癒やしを与える力があります。...

患者さんの立場になって

「厳しい、看護婦」といわれて、私は悔しいです。患者さんの立場になって、苦しみを分かると、自分が何をすべきか、どうすればいいのか、と考えるようになります。...

責任ある行動を

私は、この病院は大きいです。責任は重いです。責任ある行動を、責任ある行動を、責任ある行動を、責任ある行動を。...

与えられた仕事を精一杯に

先日、富山県青年会に、富山県青年会に参加しました。富山県青年会に参加して、富山県青年会に参加して、富山県青年会に参加して。...

牛岳スキー場に救急隊を派遣

富山スケートセンターにも

西院には、昭和四十三年十二月から、富山県立牛岳スキー場、富山県立牛岳スキー場に救急隊を派遣しています。富山県立牛岳スキー場、富山県立牛岳スキー場に救急隊を派遣しています。...

機器の長持ちに努力して

慎重な栄養指導を

機器の長持ちに努力して、機器の長持ちに努力して、機器の長持ちに努力して。慎重な栄養指導を、慎重な栄養指導を、慎重な栄養指導を。...



富山県立牛岳スキー場、富山県立牛岳スキー場に救急隊を派遣しています。

やっぱり"おやじ"だった

富山市五福に木造、兩建ての西能整形外科病院が完成した。昭和三十八年十二月であった。これより先、西能院長は整形外科の医師一人獲得しなければならなかった。西能院長は、京都からみづうん(西能院長)と許可をおろさない。



写真は座談会場

思い出を語る

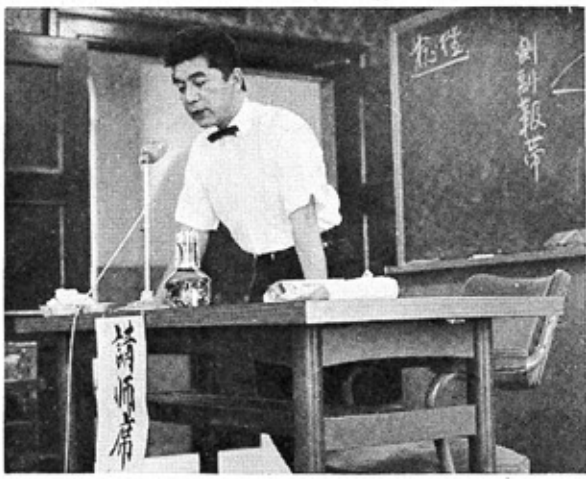
西能整形外科病院時代と、西能院長の思い出を語る座談会(第一回)を二月二十八日、富山市の神通荘で開いた。

西能整形外科病院時代の思い出を語る座談会(第二回)を二月二十八日、富山市の神通荘で開いた。

西能院長のあゆみ。西能院長は、五省会ニュースで、ねんりんを連載しているが、これは伏木孝子。

ねんりん。西能院長のあゆみ。西能院長は、五省会ニュースで、ねんりんを連載しているが、これは伏木孝子。

諸富教授が医師の派遣を承諾



チョウ・ネクタイで講義する西能院長(昭和38年ごろ)

西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。

西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。

西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。西能院長の熱意が実る。

わたしはこう思う

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。



物議をかもしだした盲腸手術

入院患者さんからの便り。入院患者さんからの便り。入院患者さんからの便り。入院患者さんからの便り。

行き届いた看護に感謝。行き届いた看護に感謝。行き届いた看護に感謝。行き届いた看護に感謝。

病院に満ちあふれた温情。病院に満ちあふれた温情。病院に満ちあふれた温情。病院に満ちあふれた温情。

全人医療の周辺。全人医療の周辺。全人医療の周辺。全人医療の周辺。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

健康法の問題(8)。健康法の問題(8)。健康法の問題(8)。健康法の問題(8)。

生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。

生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。

生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。

生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。生きがいを持ちつづけて心の安定が長寿の秘訣。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。わたしはこう思う。

人生の機微がわかる

貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。

貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。貧困と戦う若人が良医に。



西能病院 理事 西能正一郎

西能正一郎。西能正一郎。西能正一郎。西能正一郎。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

美しいものが見えてきた

〈第九信〉 松下英勝

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

院長先生、長い間、便りせず申し訳ありません。以前にも同じ様を書き出した手紙を書いた様な気がしますが、この度は本當に長い空間があったと思います。昨年暮れ、富山へ行つたのも、十一月十一日、加古川市の福祉課の方と、神戸市の玉津リハビリテーションセンターへ判定に行き、近いうち、同センターか、若しくは兵庫県の施設へケース移管ということになり、何れにせよ、「みすず荘」のみんなとは別れ、また次の生活に不安と期待、それから自分の行状を改めるナンド、殊勝な考え等、複雑に入り乱れ、情緒不安定を起し、おののいておりました。そして、そんな折、院長の入院を聞き、今の時期を逸すればとの思いから富山へ行きました。



今年1月14日のドンド焼き。餅の灰を顔に塗って、この一年の無病息災を祈る松下山さん（みすず荘の思い出から）

おネシヨシート、頭の毛も切りました。当初は徹底的に精神的にも肉体的にも、どん底、まで落ち込みました。「何も出来ないクセにナマイキいな」
「一人で何もようせんくせに、食べるな、肥るな」
「お前はダメ、ダメ、ダメ……」
でも、色々と励まし、立ち直らせてくれる人達がおります。華麗な変身できる

「何もう出来ないクセにナマイキいな」
「一人で何もようせんくせに、食べるな、肥るな」
「お前はダメ、ダメ、ダメ……」
でも、色々と励まし、立ち直らせてくれる人達がおります。華麗な変身できる

院長先生、長い間、便りせず申し訳ありません。以前にも同じ様を書き出した手紙を書いた様な気がしますが、この度は本當に長い空間があったと思います。昨年暮れ、富山へ行つたのも、十一月十一日、加古川市の福祉課の方と、神戸市の玉津リハビリテーションセンターへ判定に行き、近いうち、同センターか、若しくは兵庫県の施設へケース移管ということになり、何れにせよ、「みすず荘」のみんなとは別れ、また次の生活に不安と期待、それから自分の行状を改めるナンド、殊勝な考え等、複雑に入り乱れ、情緒不安定を起し、おののいておりました。そして、そんな折、院長の入院を聞き、今の時期を逸すればとの思いから富山へ行きました。

社会復帰目指して猛訓練

1月25日、「みすず荘」にお別れ

ことだけで、暮れから新年にかけて、自分の足は大地に着いておらず（もともと足は下は車椅子のペダルですが）背ら立ちと焦り、不安と期待、別離の哀しみ淋しさ……結局、一月二十五日、再訓練ということで、同センター附属中央病院へ入院したのであります。このセンターは、軽度の障害者の社会復帰というところで訓練があ

「私の場合、キタに回るところで、結婚は五十二年の春、奥さんのみどりさん（三）も西能病院に入院していたので、病院で芽ばえたロマンズということになる。長女（三）と長男（三）の四大家族。社宅に住んでいたが、五十五年五月、待望の新居を構えた。会社へは乗用車で通っている。西能病院の思い出について、院長が、堀君の手術は、精一杯がんばるぞ」といっておられたということ

おネシヨシート、頭の毛も切りました。当初は徹底的に精神的にも肉体的にも、どん底、まで落ち込みました。「何も出来ないクセにナマイキいな」
「一人で何もようせんくせに、食べるな、肥るな」
「お前はダメ、ダメ、ダメ……」
でも、色々と励まし、立ち直らせてくれる人達がおります。華麗な変身できる

「あの悪夢のような事故から、もう十年がすぎた。長かった闘病生活、いろいろな困難を克服してきた。そして今、一家の大黒柱である。妻と可愛い二人の幼子がいる」
堀さんは、きっぱりいう。「私は障害者に間違いない



大地を踏む

婦負郡婦中町高日附 堀 芳博さん（三）

西能病院を訪れた堀さん

りません。でも、それを忘れて普通の人たちに交って、一緒にやっていきたい気持ちでいっぱいです」
堀さんは、昭和四十七年十一月十八日朝、オートバイで出勤途中、勤務先の津根精機（富山寺町）近くで、トラックの後ろにぶつ

かかって転倒した。トラックの運転手が堀さんを西能病院に運んだ。
病院で長靴をぬいだとき、背骨に激痛がきた。はじめは意識もすっかり失っていたが、次第に意識がうすれていった。「十九日朝になって気がついたら、頭などが

取り除いた。
さらに、四十八年四月、この第四腰椎の手術をした。五月中旬からリハビリの訓練をつけ、車椅子（松葉杖一本）本エとなつて、四十九年六月二十七日、ソエで退院した。

ツエなしで歩けるようになったのは五十年の五月ごろ。六月から前に勤めていた津根精機に本社した。はじめは染工に回しても良かったが、いまは、旋盤などの機械操作に動き回っている。

でも、背水の陣を敷いてノロノロでも耐えます。せっかくなので、善意の人達がレールを敷いてくれたのですから、自分は必死に頑張るでしょう。倒れるまで、静かに寡黙の人となつて……。ここでは、それができます。ここにはワナも落とし穴も仕かけもありません。何もしないで終るより、何かをやつて玉碎する方が好きです。院長先生、訓練に疲れます。生活に疲れます。でも、頑張ります。いつの日か、松下山さんが運転して富山へ行ける日がくる様な気が……。皆様、くれぐれもお体を大切に。

透明人間のよう
に包帯でグルグルまいてあるの
で、いったいど
うなつたのかと
思いました」。
診察の結果は、
頭部外傷、頭部
挫創、顔面打撲、第二腰椎
圧迫骨折、脊髄損傷の重傷。
頭部の処置や体力づけな
どを待って、第二腰椎の手
術は十二月中旬、背骨を開
いて、つぶれ
ていた軟骨を
取り除いた。

「現在を守り抜きたい」
聞いて感激し
ました。立ち
直れたのも、皆さんのおかげです。
そして、「私は、現在を維持することで精一杯です。それで満足です。これから、女房や子供たちのために一生懸命に働きます」と結んだ。

「現在を守り抜きたい」
聞いて感激し
ました。立ち
直れたのも、皆さんのおかげです。
そして、「私は、現在を維持することで精一杯です。それで満足です。これから、女房や子供たちのために一生懸命に働きます」と結んだ。

医療法人 西能病院の診療体制

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

一般受付時間 (日曜・祭日は休診)

診療科目	午前	午後
整形外科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 (火・金は休診) 16:00~19:00
リハビリテーション科	毎日 8:30~12:00	月・水・木・土 13:30~19:00 火・金 13:30~17:00
内科	月・木 8:30~12:00	
形成外科	毎月1回 8:30~12:00	(診察日は受付で おたずねください。)

◆医療コンサルタント (毎週土曜14:00~16:00)

新たに医療相談日を設けました。(院長、又は副院長が相談にあたります) 整形外科の病気はもちろん、関連ある色々な病気について治療・予防のためのアドバイスを致します。又ご希望があれば専門の医師への紹介も致します。お気軽にご利用下さい。事前に、受付に時間予約をして下さい。(TELでも可)

◆メディカル・ソーシャルケースワーク (毎日8:00~17:00)

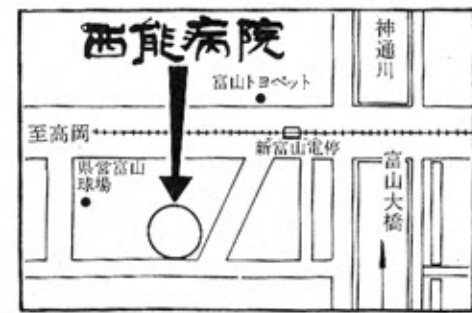
医療費や入院などにかかわる経済問題・退院後の生活設計など、病気以外の心配事や悩みに専門のケースワーカーが親身になってご相談に応じます。(秘密厳守) ご遠慮なく、受付や看護婦に申し出て下さい。

◆栄養指導 (毎週水・土)

現代病といわれている肥満・糖尿病・その他の病気にたいして、専門の栄養士が理想的な食生活を指導致します。受付にお申込下さい。

◆重病患者さんの送迎について

重症のため、一般の車で搬送できない患者さんには、入退院にあたって、病院の患者運搬車をご利用いただけます。受付に申し出下さい。



《交通機関》 市内電車……………新富山電停下車・徒歩2分
地鉄バス……………新富山停留所下車・徒歩2分
通院バス(順路)……西能病院→富山大橋→丸の内→新富山→富山駅→桜橋通り→西町→旅籠町→丸の内→富山大橋→西能病院
(?は通院バス常時停留所、その他臨時停車します。)